

琉球大学学術リポジトリ

プロフェッサー・オブ・ザ・イヤーを受賞して

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 崎間, 敦, Sakima, Atsushi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41348

プロフェッサー・オブ・ザ・イヤーを受賞して

「生活習慣病予防および健康増進」担当

崎間 敦（保健管理センター）

この度、思いがけなくプロフェッサー・オブ・ザ・イヤーを受賞させていただきました。学生および関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

さて、今回の受賞対象となった講義「生活習慣病予防および健康増進」を開講するきっかけとなったのは、新里里春学生担当理事から「琉大生に健康増進のカリキュラムの提供を検討しています。」との提案から始まっています。当時、保健管理センターに赴任して2年目の私は沖縄県の健康長寿が揺らいでいることに対して、大学教員として何らかのアプローチができないものかと考えておりましたので、新里理事の提案は私にとってよい後押しとなりました。

それでは、講義の背景とコンセプトを紹介致します。本邦における高血圧、糖尿病、肥満およびメタボリックシンドロームの頻度が増加し続けています。これら生活習慣病は心血管病の独立した危険因子であり、疾病予防の観点から早期からの生活習慣病の予防が重要です。沖縄県は特に肥満、糖尿病の有病率が高く、運動不足や脂質摂取の割合が高いことが健康上の大きな問題のひとつとなっています。この問題を解決するひとつの戦略として、早期からの生活習慣への介入が考えられます。そこで、地域社会の将来のリーダーとして期待されている琉球大学の学生を対象にして、生活習慣病および生活習慣の修正を教育することは、本邦および沖縄県の生活習慣病対策の観点から有用なカリキュラムであるとの考えにいたりました。本カリキュラムは、生活習慣病の予防の重要性について啓発を行い、生活習慣の修正法を体得することを目的としています。方略として、生活習慣病、運動療法（ウォーキング）、血圧測定法に関する講義および演習を行っています。さらに、ウォーキングおよび血圧測定演習の前後で受講者の健康指標の変化を分析し、その結果をディスカッションしています。幸い、開講初年度から受

講学生たちもこの考えに賛同してくれております。

学生が将来、「この講義の経験が役立った。」と実感できるように、これからも充実したカリキュラムを提供できるように尽力していきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。